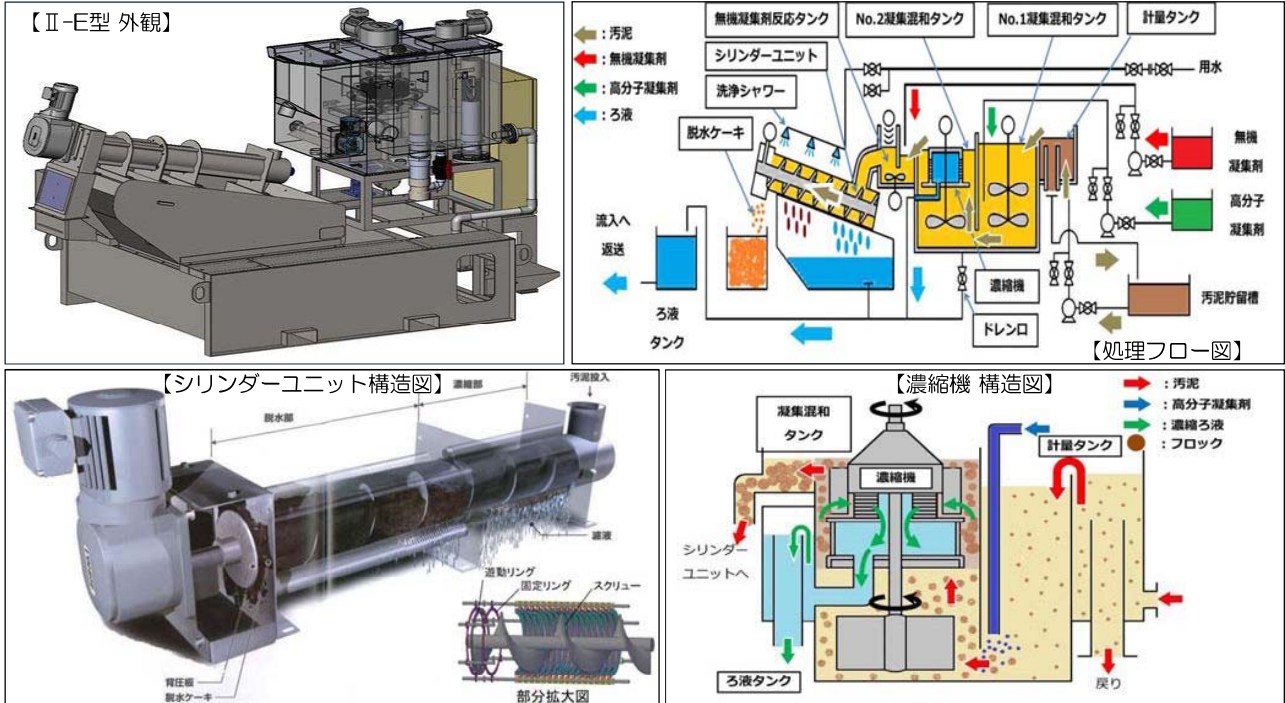


# 多重板型スクリーブレス脱水機-Ⅱ型

■技術概要：従来の多重板型スクリーブレス脱水機と同様、目詰まりが少なく24時間連続運転が可能であるとともに以下の新機能を追加しました。

- ① 凝集混和槽内に濃縮機を追加し、シリンダーユニットへの供給汚泥を高濃度化
- ② スクリーブをテーバー形状に変更し、シリンダーユニットの内圧を向上
- ③ 脱水機への投入汚泥固形物量を自動制御し、含水率・ろ過速度一定運転を実現
- ④ 固定リングの一部を着脱可能とし、本体内の汚泥閉塞対応を容易化



## Ⅱ-E 型

オキシデーションディッチ（OD）法汚泥の直接脱水に広く利用される多重板型スクリーブレス脱水機の性能強化要求に応えるべく、Ⅱ-E 型を開発しました。

### ■主な特長

- OD槽からの直接引抜き汚泥を対象
- 実績のある多重板型スクリーブレス脱水機の機器構成を踏襲（高い信頼性）
- 性能強化により更なる容易な維持管理性

### ■脱水性能（スクリーブ径：φ200mm/本）

- 含水率：83.0%（従来機 同等）
- ろ過速度：14kg-DS/h・本  
（従来機 7kg-DS/h・本）

※汚泥性状

TS：0.3%、VTS：82.0~75.0%、繊維状物：3.0~12.0%の場合

### ■導入効果（従来機比）

- ろ過速度向上（処理能力向上）により設備規模の縮小化が見込まれ、LCC縮減に寄与  
※薬品費等の実態に合わせて従来機とのLCC比較が必要
- 各種計器類を用いた機械制御により、汚泥濃度の変動にも安定した処理を実現
- オーバーホール費用の低減

## Ⅱ-M 型

標準活性汚泥法（標準法）への適用拡大要求に応えるべく、混合汚泥（生汚泥+余剰汚泥）を対象にⅡ-M 型を開発しました。

※Ⅱ-E 型とは機器構成、付属品が異なります。

### ■主な特長

- 標準活性汚泥法（標準法）の混合汚泥を対象
- 他脱水機よりも省スペース化
- Ⅱ-E型と同様、標準法においても容易な維持管理性を継承

### ■脱水性能（スクリーブ径：φ350mm/本）

- 含水率：72.0%
- ろ過速度：100kg-DS/h・本  
（上記は2液調質時の値）

※汚泥性状

TS：3.5%程度、VTS：86.0~83.0%、繊維状物：20%の場合

### ■導入効果

- 汚泥脱水設備に係るLCC縮減に寄与
- 各種計器類を用いた機械制御により、汚泥濃度の変動にも安定した処理を実現
- 消耗品の交換が工場に持ち帰ることなく、現地にて短期間で交換可能